

平成23年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 5-4-12 最終処分場管理運営費

【予算反映等改善事項】

赤石地区一般廃棄物最終処分場は、ごみ焼却施設から排出される焼却灰、不燃物残渣および側溝清掃に伴う汚泥等を埋立処分してしております。

平成10年より運営開始している当該最終処分場は、現在、ごみの減量化・再資源化の推進により延命化に努めておりますが、数年後は残余容量が逼迫するおそれがあるため、次の処分場の確保も検討しなければならない状況にあります。

施設の維持管理においては法定基準を達成しているかを法令等に基づき調査・分析を行ったり、水処理施設の点検・整備等により放流水等水質の管理を実施し場内の保全および公共用水域の水質保全に努めております。

水処理施設も平成10年の処理開始から14年が経過し老朽化が進んでおり、電気設備、特に水質汚濁法に基づき放流水の水質を記録しておくデータロガーや水処理施設の運転を制御しているシーケンサー等の更新費用が高額な設備（部分）が耐用年数を大幅に超過しており、経年劣化が顕著であるため、維持管理等費用が嵩み今後も増大していくことが予想されます。

それにともない、現在は適正におこなわれている施設の維持管理運営が困難になっていく事態も想定されるなか、非常に厳しい状況ではありますが、効率的・効果的な必要最低限の整備を今後も徹底しておこない、コスト削減に努めるとともに、公共用水域の水質保全に努め生活環境保全の向上に取り組んでまいります。